

バラ園（植物園）ではなく、バラのある庭としてのバラ管理

旧古河庭園にあるバラについて

旧古河庭園は1970年代・1980年代に流行したバラが非常に多い。
この時代は手間をかけて立派な大輪の花を咲かせることが良しとされていた時代であったため、非常に手入れが難しいものが多いが、整形式花壇や洋館にマッチするタイプのバラである。旧古河庭園では庭師4人が日々手入れをすることで、これらのバラをお客様に楽しんでいただける維持管理を行っている。



レオニダス



ムーン・シャドウ



バニラ・パフューム



ピンク・ピース



初恋

庭園から見る洋館とのバランスを意識したバラ管理

旧古河庭園の見せ場は、なんといってもその咲き誇るバラと洋館のコントラストが織り成す景観美である。お客様がこの景色を楽しみにいらっしゃることを理解したうえで、バラ園から洋館を見上げた時の広い空、重厚な洋館や欄干、そして生垣等とバランスを見ながら管理している。バラの高さは人の目線の下に来るようにするため、枝ぶりや花の位置を考えながら剪定している。



目線の下で花を咲かせる



洋館や生垣とのバランスを見ながら
バラの高さを決定
名勝として鑑賞価値を高める管理を行っている



開花時のバラ管理

独自のバラ管理

旧古河庭園のバラは年間を通して咲くことが可能な「四季咲き性」のバラ(=HT ハイブリッド・ティー)が多いが、あえて夏は株を休ませ(冬期は休眠)、バラに適した気候である春と秋に咲かせる管理をしている。

こうすることで花や形が大きく、香り高い美しいバラを咲かせることができる。



夏季剪定(8月ごろ)



冬季剪定(1~2月ごろ)

すべての準備を整えてバラの時期を迎える

- ・開花直前にはバラ花壇の除草や生垣の刈り込み(①)を行う。生垣の刈り込みは垂直なガイドラインを水系で取ったあと、それを見ながらヘッジトリマーと刈り込み鋏を駆使して実施する。余計な草を取り、整形式花壇のメリハリを出すこの作業を行うことで、バラもまた美しく見える。
- ・樹名板も庭師達の手作り。年に1、2度交換し、日焼け対策や情報更新を行っている。お客様が見やすいためと整形式花壇の整然性を保つため、こちらも水系を引いてガイドラインを作って設置している。(②)
- ・シーズン中は病害虫対策のため、週に一度必ず閉園後に薬剤散布を実施している。(③)花の様子によって薬剤の配分を変えている。



①生垣刈り込み



②樹名板作成・設置



③週に1度の薬剤散布



イタリア式×フランス式庭園

イタリア 露壇式庭園

洋館から見下ろす洋風庭園には広い芝庭や花壇がある。その中でも一番多くの割合を占めるのがバラ。洋館の南斜面はテラス式の三段構造になっており、一段目はバラとユッカラン、二段目はバラ、三段目はツツジやサツキ等の刈り込みで構成された、露壇式(イタリア式)庭園とも言われる造りとなっている。



一段目



二段目



三段目

フランス 整形式庭園

前述二段目のバラ園には、四角や円の形を植物で幾何学模様を描くよう、形はきれいに刈り込まれ、デザインされた植込がある。これを整形式庭園という。旧古河庭園ではその中にバラが咲き、印象的な景観を生み出している。



旧古河庭園のバラ園はイタリア式とフランス式を掛け合わせた洋風庭園！

日本と西洋の美意識の違いを楽しむ

洋風庭園は、日本庭園における自然樹形を活かしたアシンメトリーや曲線を主とする感覚とは正反対である。植物の形を人の手で作りこみ、整然性を生み出すことでシンメトリーと直線を美として庭園に落とし込んだ西洋的な美的感覚が見て取れる。

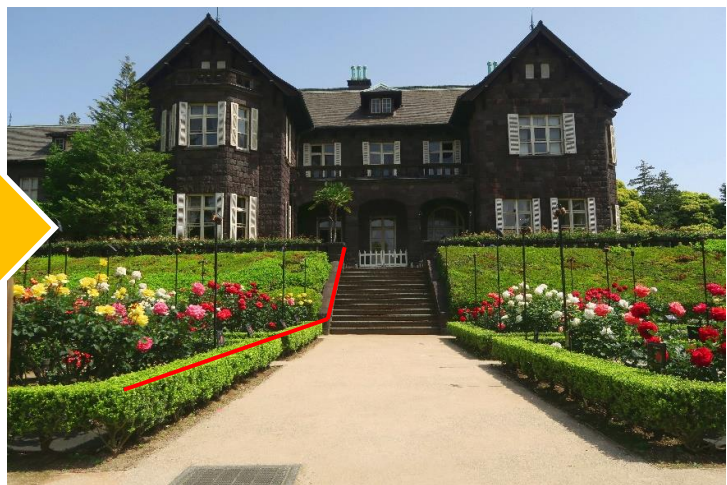
旧古河庭園では本格的な日本庭園、洋風庭園が見られるため、和洋の美意識の違いを感じながら園内散策するのもおすすめだ。



作庭意図を汲み、約20年ぶりに整形式花壇の全面更新を実施

平成28年から計画的に継続している主要景観の管理

景観が変わってしまうため生垣を庭園で育てることはできないことを踏まえ、東京都産業労働局さんの協力をいただき、平成30年度に生垣更新を実施。平成28年度から生垣の必要本数や種類、高さを指定し、定期的に当園の庭師が訪れて生育状況を見ながら苗圃にて育てていただいたものを植え替えた。



Before 生垣の肥大化によって欄干が埋もれ、
軸線がずれている

After 軸線が繋がった

太く高く生長した植込みが低く細くなることで庭園の奥行きや軸線が復活

肥大しすぎた生垣が主張しすぎることで庭園のバランスが崩れ、奥への視線が遮られて景観の広がりが失われていたが、更新によって洋館と庭園が美しく調和し、欄干から生垣の軸線が復活。J.コンドルが意図したシンメトリーな景観を蘇らせることができた。日当たりが改善しバラの生育にも良く、お客様からも見やすくなった。平成30年度に実施した生垣以外のサワラ、カイヅカイブキは間もなく実施し、今年度でバラ園すべての生垣更新が完了予定。

